

# きらめき

vol.44

2026.1.10

与謝の園オリジナルキャラクター  
マルちゃん

～感謝・絆・そして未来へ～



テリーちゃん

地域の皆様に支えられて  
与謝の園40周年

発行／社会福祉法人 北星会

編集／広報誌編集委員会

〒626-0033 京都府宮津市宇宮村1277 TEL：0772-22-8233 FAX：0772-22-8477

ホームページ：https://hokuseikai.or.jp Eメール：info@hokuseikai.or.jp



# 与謝の園 40周年祭

感謝・絆・そして未来へ

与謝の園

与謝の園は開園40周年を迎え、10月26日(日)に記念祭を開催しました。多くの方々に来場していただき、会場は終始にぎわいを見せました。



企画段階から「どのような祭りを作り上げたいか」を議論し、掲げたテーマは「感謝・絆・そして未来へ」ご入居者、ご家族、地域の方々と40年の歩みを振り返り、これからも共に支え合っていくという思いを込めました。

お祭りの当日は、京都府立与謝の海支援学校の学生による迫力の太鼓演奏、与謝野町立つばきこども園の園児達の歌とダンス、加悦下の町芸屋台の踊り、京都大学パフォーマー団体によるマジックショー、デユオ縁の歌謡ショーなどが会場を盛り上げてくれました。







また、地元団体による野菜や名産品販売やデイサービスご利用者の作品展、ご入居者・ご家族が記念撮影できるフォトコーナーも設置。与謝の海支援学校生徒のデザインをもとに制作されたオリジナルキャラクター「マルちゃん・ベリちゃん」が初披露され、来場者の注目を集めました。



さらに、キッチンカーやフード販売など、地域との「つながり」から生まれた出店が並び、来場者のお腹も心も満たしてくれました。

祭りの締めくくりは、職員有志による「与謝ドリフターズ」。ねじりはちまきにハッピーとステテコ姿で歌と踊りを披露し、会場は笑いと拍手に包まれました。

与謝の園は、これまで関わってくださった皆様への感謝を忘れず、今後も絆を深めながら地域の皆様と共に歩みたいと思います。



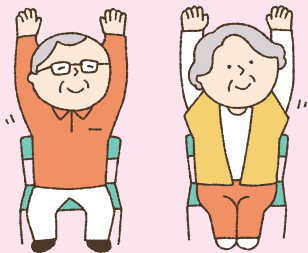


# 10年目のスタートを祝って!!

## Re-Style

平成28年9月1日に開設した機能訓練型デイサービス「Re-Style通所介護事業所」は、今年で10年を迎えました。節目を記念し、9月1日から1週間にわたりいつもの活動に工夫を凝らした特別メニューをご提供しました。体を動かす体験型運動レクリエーションや日替わりニュースポーツ大会など、毎日楽しく取り組めるプログラムを用意し、ご利用者の皆さまに笑顔あふれる時間を過ごしていただきました。中には開設当初から通う方もおられ、10年間機能維持されていることを事業所として大変うれしく思いました。

近年「元気に長く暮らしたい」「運動の機会を持ちたい」と介護予防への関心が高まっており、機能訓練型デイサービスの利用は広がりを見せています。当事業所では、ただ訓練を行うだけでなく、楽しみながら続けられる運動を大切に、地域の皆さまに寄り添う施設であり続けたいと考えています。





# 「介護の日イベント」開催レポート

～地域とつながる、介護の今とこれから～

天橋園



令和7年11月15日（土）、総合在宅支援天橋園では「介護の日イベント」を開催しました。当日は快晴に恵まれ、ぽかぽかとした陽気の中、地域の皆さま34名にご来場いただきました。

前日から地域貢献PR委員会を中心に看板や飾り付けを準備し、会場は温かく迎える雰囲気になりました。

今回のイベントでは、コロナ禍で長らく実施できなかった施設見学を再開。さらに、株式会社石坪様のご協力のもと、福祉用具の展示・相談会も実施しました。

## 施設見学で介護の現場を体験

見学では、デイサービスやグループホーム、居宅介護支援など、各事業所の取り組みを紹介しました。特にデイサービスには多くの関心が寄せられ、「活動内容を直接聞けて安心した」「将来の利用を見据えて見学できた」といった声が

寄せられました。また、特別養護老人ホームの設置を望む声も複数あり、地域の介護ニーズの高さがうかがえました。

## 福祉用具展示・相談会も大盛況

展示会では、電動車いすの試乗やミラバス体験、補聴器・見守りカメラの紹介など、最新の福祉用具に触れる機会を設けました。「実際に体験できてよかった」「知らなかった機器を知ることができた」と好評を博しました。



## アンケートから見た地域の声

参加者30名からのアンケートでは、60代以上の方が約8割を占め、介護への関心の高さが際立ちました。介護職員への感謝や、移乗方法への意欲など、前向きな声が多く寄せられました。



今後も天橋園では、地域の皆さまと共に介護を考え、支え合う場をつくっていきたいと思います。次回イベントもどうぞ楽しみに！



# 訪問リハビリテーションのお仕事紹介

なぎさ苑

リハ・ヴィラなぎさ苑では、住み慣れたご自宅で安心して暮らし続けていただけるよう、訪問リハビリテーションを行っています。

訪問リハビリのスタッフは、専門職である理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が、ご利用者のご自宅に伺い、身体機能の維持・回復や日常生活動作の練習をサポートします。たとえば「階段の昇り降りが不安」「着替えや食事をもっと自分でできるようにになりたい」といった日常の課題に寄り添い、具体的な練習や工夫と一緒に考えます。

また、福祉用具の選定や使い方の説明、住宅環境の整備に関するアドバイスも大切な仕事のひとつです。手すりの位置や段差

の解消など、ちょっとした工夫が生活の安心につながります。

さらに、当苑で長期入所を経て在宅復帰された方も、引き続き訪問リハビリをご利用いただけます。退所後も継続的に支援することで、地域での暮らしをより安心して続けていただけるよう取り組んでいます。

訪問リハビリは、単なる「リハビリの提供」ではなく、ご利用者とご家族の生活そのものを支える仕事です。地域の中で笑顔を増やすために、私たちは今日もご自宅へ伺っています。





## 与謝の園

ご利用者の普段の会話の中で「買い物に行きたい」「最近では買い物に行かなくなった」といった声を耳にすることが増えていました。そこで職員が話し合い、昨年からはパンや大判焼きの訪問販売がスタートしました。

自分のために、家族のために、またお世話になっている近所の方への贈り物として——皆さまそれぞれの思いで買い物を楽しんでいます。

訪問販売の予定をお知らせすると「何を買おうかな」と会話が弾み、当日選んだパンや大判焼きを召し上がって「美味しかった」「またしてほしい」と喜びの声をいただきました。その言葉は職員にとっても大きな励みとなっています。

訪問販売を行う中で、「もっと生活に必要なものが販売できないか」「どの曜日のご利用者にも買い物を楽しんでもらいたい」など、必要とする多くの方が訪問販



売をご利用いただけるよう考えました。取引業者のご協力を得て、今年度からは移動販売車の訪問が月2回になり、日用品や総菜、お菓子などの買い物を楽しんでいます。

訪問販売を通じて「自分で選び、買う」という満足感や喜び、店員さんとの会話による社会とのつながりを大切にしています。

これからも、デイサービスが生き生きとその方らしく過ごしていただける場であるよう、日々取り組んでいきます。



訪問販売の  
取り組みについて



## はまフェス2nd

今年で2回目となるはまフェスを11月13日(木)と14日(金)の2日間にわたって開催しました。はまフェスは地域参加型のイベントとしており、今年も地域からたくさんの方々に来場していただきました。由良地区で活躍されているボランティアの方々やお店にも参加していただき、イベントを盛り上げていただきました。

このはまフェスを通じて、はまなす苑を普段ご利用されていない方もお越しただけ、「初めて入らせてもらったわ」「楽しいことしとんなるんやなあ」など、はまなす苑を知っていただける良い機会となりました。

今後のはまなす苑はご利用者だけでなく地域の方々のニーズに応え、皆さんといっしょに由良地区がより良い地域となるよう盛り上げていきます。





# HAPPY SMILE DAY

## なぎさ苑

リハ・ヴィラなぎさ苑では、ご利用者・ご入居者の笑顔を大切にした取り組みの一環として、サービス向上委員会が中心となり「SMILEプロジェクト」を立ち上げました。イベント委員会もプロジェクトに参加し、笑顔あふれるひとときを皆さまと共有したいという思いから、「HAPPY SMILE DAY」をタイトルに、11月27日（木）ご入居者向けイベントを開催いたしました。

昼食には行楽弁当を用意。調理スタッフが試作段階から皆さんの笑顔を思い浮かべながら取り組み、当日は「美味しいね」と喜んでいただきました。おやつにはスイーツバイキングを準備し、選ぶ楽しさに目を輝かせながら、にこにこ笑顔をたくさん見せていただきました。

さらに、長らく実施できていなかったボランティア受け入れを再開し、各フロアでオカリナ演奏会を開催。これまでは動画で音楽番組をご覧いただいていたましたが、生演奏ならではの温かい音色に、皆さまもうっとりと笑顔を浮かべておられました。

これからも「HAPPY SMILE DAY」を恒例のイベントとして続け、ご利用者・ご家族・地域の皆さまとともに笑顔の輪を広げて、心温まる時間を積み重ねていけるよう努めていきます。



### 編集後記

新しい年の始まりに、皆様へ「きらめき44号」をお届けできることを嬉しく思います。昨年は地域での交流やイベントを通じて、たくさんの出会いとご協力に支えられました。人と人が直接かわかることで生まれる温もりの大切さや、ちょっとした声かけや助け合いの積み重ねが、暮らしに彩りを添えてくれるのだと改めて感じています。今年も小さいことにも耳を傾け、温もりある取り組みを通じて安心できる日常をお届けしてまいります。



↑  
ホームページは  
コチラ